

【自由金利型定期預金M型規定】（スーパー定期）

〈単利型〉

1. 【利息】

(1)この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数および証書または通帳記載の利率(以下「約定利率」といいます。)によって計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払いは次によります。

①預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数および証書または通帳記載の中間利払利率によって計算した中間利払額(以下「中間払利息」といいます。)を利息の一部として、各中間利払日以後に、あらかじめ指定された方法により次のとおり支払います。

なお、預入日の2年後の応当日を満期日としたこの預金(以下「自由金利型2年定期預金M型」といいます。)に限り、中間払利息を定期預金とすることができます。

A 現金で受取る場合には、当金庫所定の中間払利息請求書に届出の印章により記名押印してこの証書または通帳とともに提出してください。

B 預金口座へ振替える場合には、中間利払日に指定口座へ入金します。

C 定期預金とする場合には、中間利払日にこの自由金利型2年定期預金M型と満期日を同一にする預入期間1年の自由金利型定期預金M型(以下「中間利息定期預金」といいます。)とし、その利率は、中間利払日における当金庫所定の利率を適用します。

②中間払利息(中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額)を差引いた利息の残額は満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2)この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3)この預金を第4条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息(以下「期限前解約利息」といいます。)は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた別表1.の利率(小数点第4位以下は切捨てます。)によって計算し、この預金とともに支払います。

ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額(中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額)と期限前解約利息との差額を清算します。

(4)この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

2. 【中間利息定期預金】

(1)中間利息定期預金の利息については、前記1の規定を準用します。

(2)中間利息定期預金については、原則として預金証書の発行または通帳に記載しないこととし、次により取扱います。

①中間利息定期預金の内容については別途に通知します。なお印鑑はこの預金の届出印鑑を兼用します。

②中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するときは、証書の受取欄(通帳の場合は当金庫所定の払戻請求書)に届出の印章により記名押印して、証書または通帳とともに当店に提出してください。

③中間利息定期預金のみを解約または書替継続するときは、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して、証書または通帳とともに当店に提出してください。

〈複利型〉

3. 【利息】

(1)この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数および証書または通帳記載の利率(以下「約定利率」といいます。)によって6か月複利の方法で計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2)この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3)この預金を第4条第1項により満期日前に解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた別表1.の利率(小数点第4位以下は切捨てます。)によって6か月複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。

(4)この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

4. 【預金の解約、書換継続】

(1)この預金は、当金庫がやむを得ないと認める場合を除き、満期日前に解約することはできません。

(2)この預金を解約または書替継続するときは、証書の受取欄(通帳の場合は当金庫所定の払戻請求書)に届

出の印章により記名押印して、証書または通帳とともに当店に申出てください。

5.【規定の適用】

この規定に定めのない事項については「預金・積金共通規定」により取扱います。

以上

2020年4月1日現在